

ぽっかぽか らいおん組

新年度から一ヶ月が経ち、新しい環境にもだいぶ慣れてきた子どもたち。笑顔も増えてきました。また、憧れの年長さんになったという喜びから様々なことに挑戦したり、頑張る姿が多くたくさんの成長を感じられる日々です。今月号では、新しい活動と就学に向けて今、子どもたちが取り組んでいることについて紹介します。

新しい活動

①お茶の稽古 講師：茶道裏千家 島田 秀美 先生

年中招待で経験したお茶の稽古。あの時優しく教えてくれた年長さんに今年は自分たちがなる番です。この1年、計11回の稽古を通して【礼儀】と【作法】を習います。年度末に保護者の方を招待し、稽古見学と目の前で子どもたちが点てたお茶を飲み、お子さんの成長を実際に感じられる機会がありますので、ぜひお楽しみに！

②楽しい音楽 講師：今泉 りえ 先生

講師のりえ先生は、劇団四季に入団されていた経歴をもち、現在も歌手・ボイストレーナー・ミュージカルなどマルチに活躍されています。りえさんと一緒に楽しく音楽に触れ合い、成長の成果を子ども会で披露します。21日に行われた初回では、「さんぽ」の1番を振り付きで歌ったり、音程に合わせてラララと言ってみたり「やまびこさん」の歌詞を〇〇ちゃん〇〇くんに変え、一人ずつ自己紹介をしました。みんな終始ノリノリで、音楽が好きだと伝わるほどとても楽しそうに参加していましたよ♪

③食育

長らくできなかった食育活動。今年度はたくさんの食育活動ができるよう給食さんたちと絶賛相談中！ 毎月の活動として行っていきたいと考えています。先日、おやつの時間に行われたおにぎりづくりもその一環です。初めておにぎりをにぎるとい子が多い中、やり方を習うと嬉しそうに真似してにぎることができていました。さらにすごいのがおかわりの量！ 「自分でできた！」「おいしい！」と普段おかわりをしない子も続々と並び、大行列に！ これからも食育活動を通して食べ物への興味・関心を少しでも深くできたらいいなと思います。

就学に向けて

平成 29 年度に多摩市内の小学 1 年生の担任教師と就学を控えた年長のお子さんの保護者の方々に対して行われたアンケート調査によると、『就学前に保護者が気を付けていること』では、「自分のことは自分でできるようにする」「交通ルールを守れるようにする」「挨拶や返事をする」と続く結果になりました。

一方、『小学 1 年生担任教師が保護者に気を付けてもらいたいと思っていること』では、「人の話を聞けるようにする」と「困ったときに人に伝える」が同率で 1 位の結果になっています。

現在クラスでは、「人の話を聞けるようにする」を重点的に取り組んでいます。

【ポイント】

- ①よい姿勢 …背筋を伸ばす・足を床に着ける・手はおひざ
- ②話をしている人の方を向く …目を合わせる
- ③最後まで話を聞く …言いたいことがあるときは、手を挙げる

最初は、絵本の読み聞かせから練習をしていきました。話をきくことが「楽しい」とわかると、お集まりにも早く参加しようと進んで行動できる姿も増え、前に立つ大人も褒める機会がとて多くなりました。このように 楽しい→認められる→自信をつけるといったプラスの循環が習慣となり、今ではほとんどの子どもたちが新しい活動や朝夕の集いで話を聞ける時間が長くなってきています。

次の目標は、話を「聞く」から話を「聴く」へのステップアップ。

「聴く」という字には注意深くや身を入れるという意味も入っているそうです。見て真似ることが多かった今まで。これからは、聞いて学ぶ。ができるように。話を聴くことができるようになれば、理解して行動することや考える力もついていくと思います。新しい活動や年長児ならではの行事もそうですが、話しを聴くことが、自分では経験できないことや思いつかないことなど、世界を広げるきっかけにもなります。人生に影響を与える素晴らしい出会いもあるかもしれません。子どもたちが少しでも話を聞くことができるように、まずは私たち大人が子どもの話に耳を傾け、聴くことも大切ですね。

◇お知らせ「個人計画の書式が変わります」

今まで保護者の方々から頂いた声をもとに、個人計画の書式を見直すことになりました。従来のものよりもお子さんの成長をより分かりやすく共有したいという狙いがあります。ゴールデンウイーク明けに新しい書式となった個人計画 1 期を配布する予定です。わからないことや改善のためのご意見などございましたら担任へお報せください。